

兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 2号)

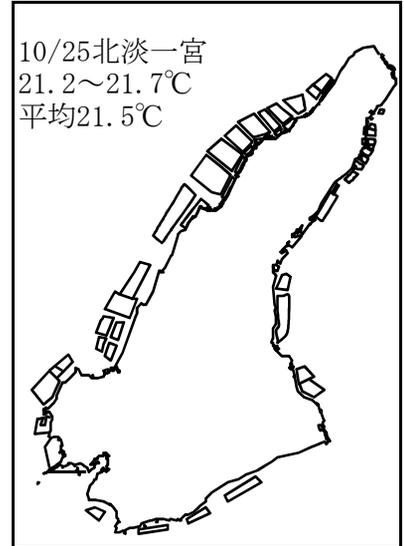
平成29年10月26日発行
兵庫のり研究所

台風による海水混合や降雨による陸水等の影響もあり、淡路周辺海域全域において栄養塩は平年より高くなっています。窒素は西浦および南浦海域で概ね5~6 $\mu\text{g at / L}$ 台、東浦海域においては10 $\mu\text{g at / L}$ 以上の値を示しました。この海域全般に珪藻の発生量は少ない状況です。

(珪藻) 西浦海域において多く確認されていたコシノディスカスは、海水1Lあたり50~130細胞(前回調査時:300~700細胞/L)と減少している。東浦および南浦海域では海水1Lあたり20~60細胞と少ない状況。それ以外の珪藻は全域においてほとんど確認されない。東浦海域のサンプルでは全般に夜光虫が見られており、栄養塩(窒素・リンならびにシリカ)の値が全体的に高かった。

水温図

10/25北淡一宮
21.2~21.7°C
平均21.5°C



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	5.3	22.3	5.0	6.3
	リン	0.66	1.72	0.58	0.59
西浦地先	窒素	3.0	5.9	4.4	6.0
	リン	0.49	0.71	0.61	0.68
南浦地先	窒素	3.2	6.3	4.3	6.6
	リン	0.53	0.70	0.60	0.65

(10/16)

(10/26)

栄養塩(窒素) 図

平成29年10月26日調査

